

スマートシティさいたまモデル
「美園地区におけるスマートホーム・コミュニティ」の取組

令和6年3月8日(金)

さいたま市 都市戦略本部 未来都市推進部

環境未来都市推進担当

主任 萩原 大樹

さいたま市の概要



- 東京都心から20から40km
埼玉県南東部に位置
- 政令指定都市・県庁所在地
- 新幹線6路線が集まる交通結節点

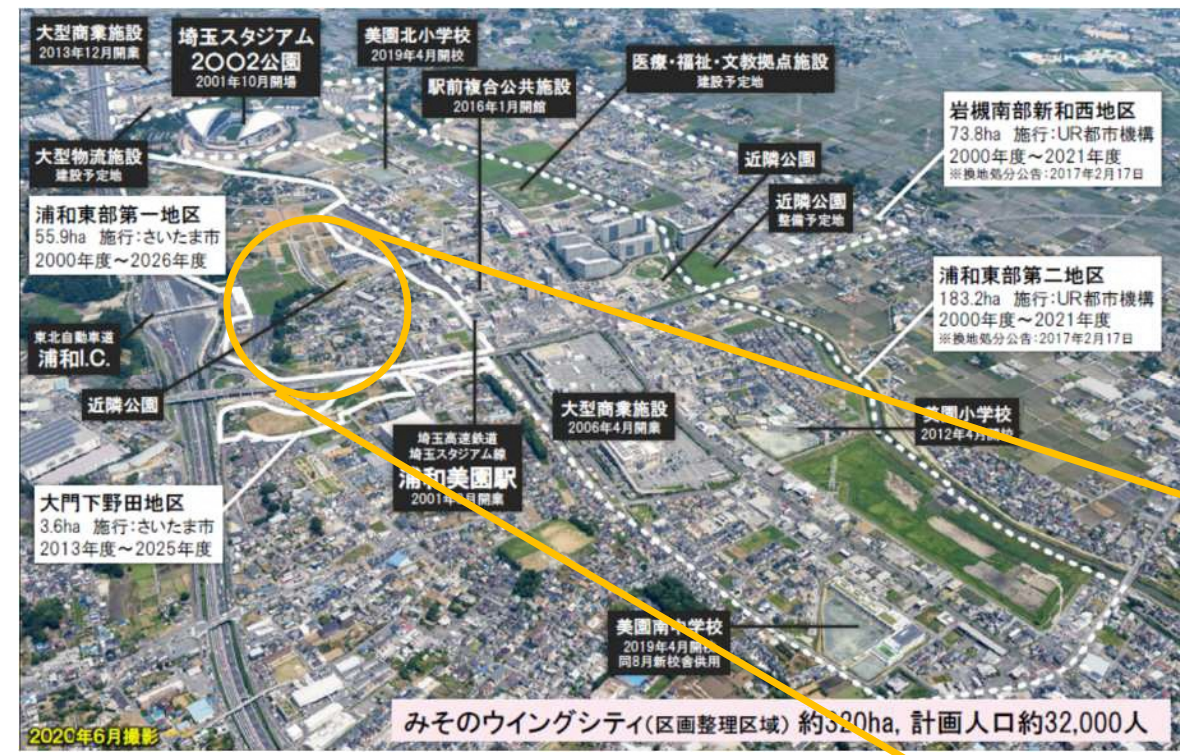
- 2001年5月 さいたま市誕生
埼玉県内で初の100万人都市
- 2003年4月 政令指定都市移行
全国で13番目
- 2005年4月 岩槻市と合併



- 人口 1,344,892人
- 世帯数 640,425世帯
- 面積 217,43km²
- 人口密度 6,185.4人/km²

2024年2月1日現在

事業の舞台：美園地区



浦和美園駅周辺(航空写真:2020年6月)

美園地区(埼玉高速鉄道線「浦和美園駅」周辺)

- ・市の東南部の郊外に位置
- ・「浦和美園駅」を中心に、大規模な都市開発が進むエリア
- ・同駅や2002FIFAワールドカップに向け開場した埼玉スタジアム2002を囲みながら、総面積約320ha 計画人口約32,000人の土地区画整理事業(愛称:みそのウイングシティ)を核とした新たな都市拠点づくりが進行中
- ・さいたま市総合振興計画においては、4つの「副都心」の1つに位置付け

➡ 美園地区をさいたま市が目指す理想都市の縮図へ

スマートホーム・コミュニティ



埼玉スタジアム2002

埼玉高速鉄道線「浦和美園駅」

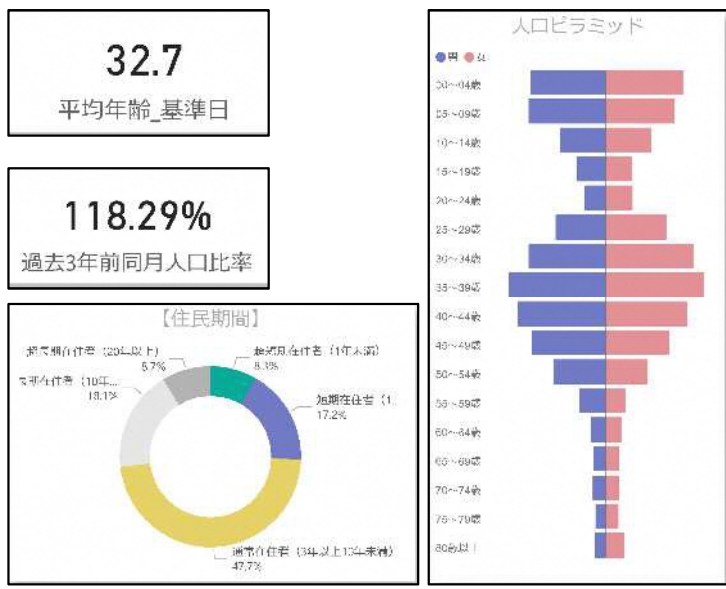


データで見る美園地区 (24. 2)

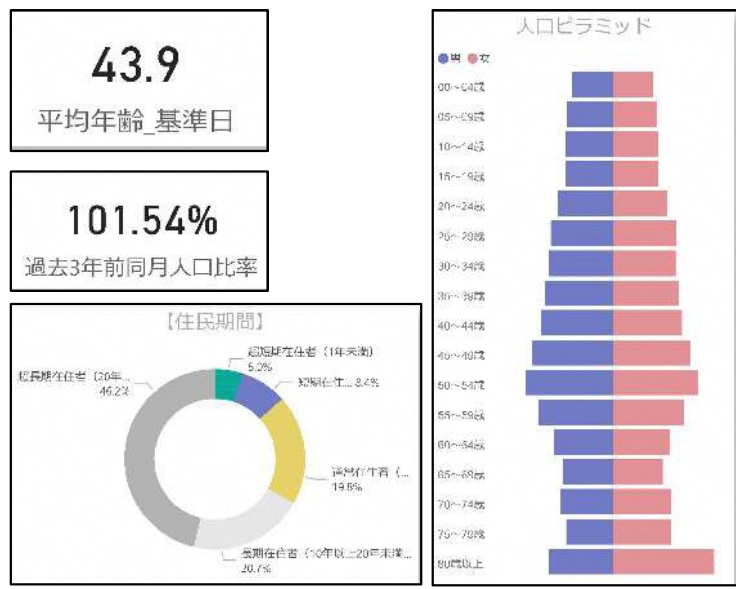


＜美園地区の特徴＞
 ○2001年に土地区画整理事業が認可され市街地形成が開始した“新しいまち”
 2019年は美園北小、美園南小が開校
 ○人口は3,471⇒17,979人と推移しており計画人口に対する計画達成率現在約56%

人口分析(美園地区)



人口分析(さいたま市全域)



＜市全域との比較した美園地区＞
 ○平均年齢は10歳以上若く、人口ピラミッドからも、0～9歳、30～44歳の割有が多い
 ○同地区に住まわれている期間は、10年未満の割合が7割を超えており、‘若い’まち

さいたま市におけるスマートシティの取り組み



スマートホーム・コミュニティ

街区全体で脱炭素化と強靭性を備えるとともに、自助と共助を創出する新しいまちの構築



ハイパーエネルギー・ステーション

多様なエネルギーを災害時も供給



マルチモビリティ・シェアリング

交通の低炭素化・状況に応じた移動支援



脱炭素+レジリエンス+地域経済活性化

2015年(H27)8月～

スマートシティさいたまモデル

(さいたま市が理想とする都市の縮図)

脱炭素+レジリエンス

2011年(H23)～

次世代自動車・スマートエネルギー特区

(低炭素化・エネルギーセキュリティ(レジリエンス))

▶ 2011年(H23)3月11日 東日本大震災 … “**停電**” “**ガソリン無し**” の経験

① 施設が**自立分散型電源としての機能**を有するべき

② 地域の人流・物流に**複数のエネルギー**が有るべき

→「暮らしやすく、活力のある都市として、継続的に成長する環境未来都市」の実現を目指す。

脱炭素

2009年(H21)～

E-KIZUNA Project

(次世代自動車の普及)

E-KIZUNA
Project

スマートホーム・コミュニティ

スマートホーム・コミュニティの初期コンセプト

- ・低炭素でエネルギーセキュリティの確保された都市(まち)
- ・しっかりした(顔の見える)地域コミュニティの育成、暮らしやすい都市(まち)

○脱炭素化とエネルギーセキュリティの確保

- 電力使用状況の見える化(HEMS)
- 太陽光発電パネルの設置
- **電線類地中化**により、災害時等の停電リスクの低下



○高断熱高気密な住宅性能(HEAT20グレード2)

- ヒートショック・低体温症の防止
- 省エネ効率の向上
- 年間を通じて室温の変動幅がなく、健康度向上



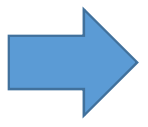
○コミュニティスペース(コモンスペース)

- 住民同士の「ご近所づきあい」が起こりやすい配置
- 管理組合の組成、街区住人同士のミニイベント(家庭菜園 etc.)

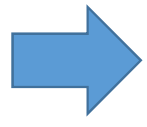


区画整理事業

区画整理事業
市保有地 約22,000m²

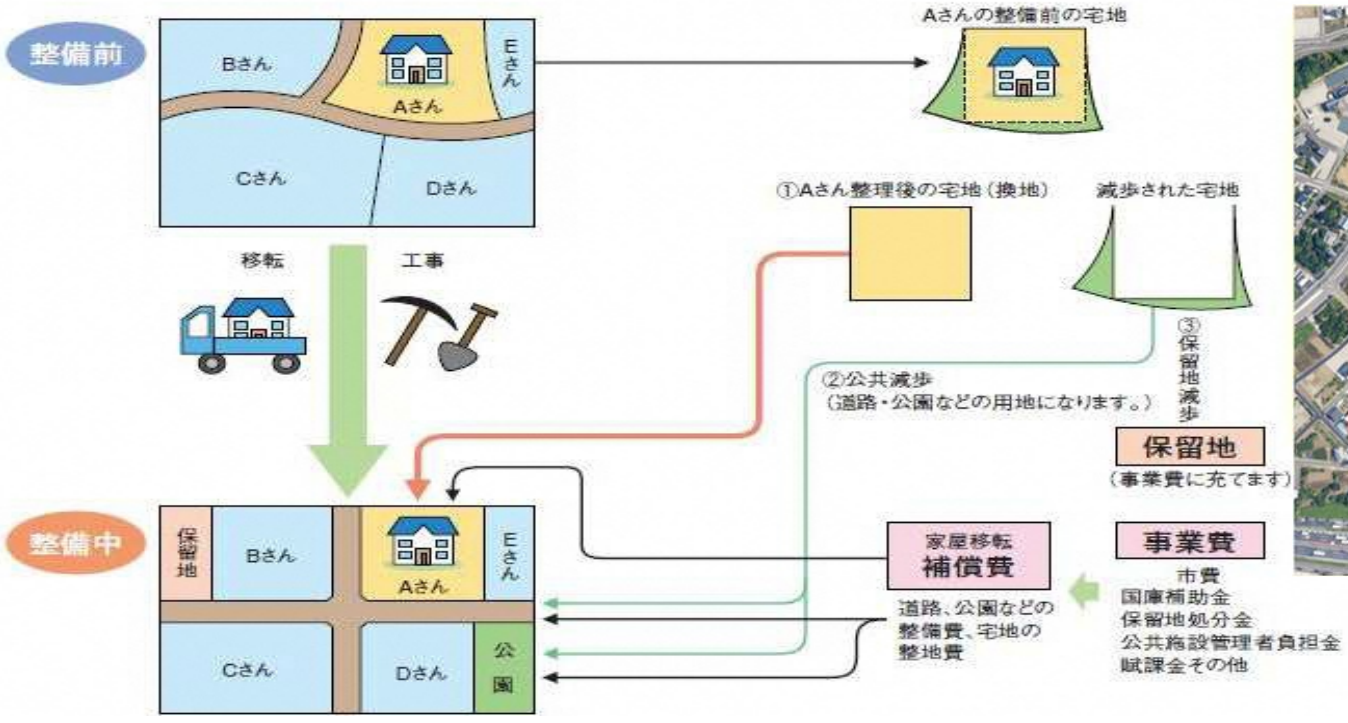


まちづくりに活用



企画提案募集

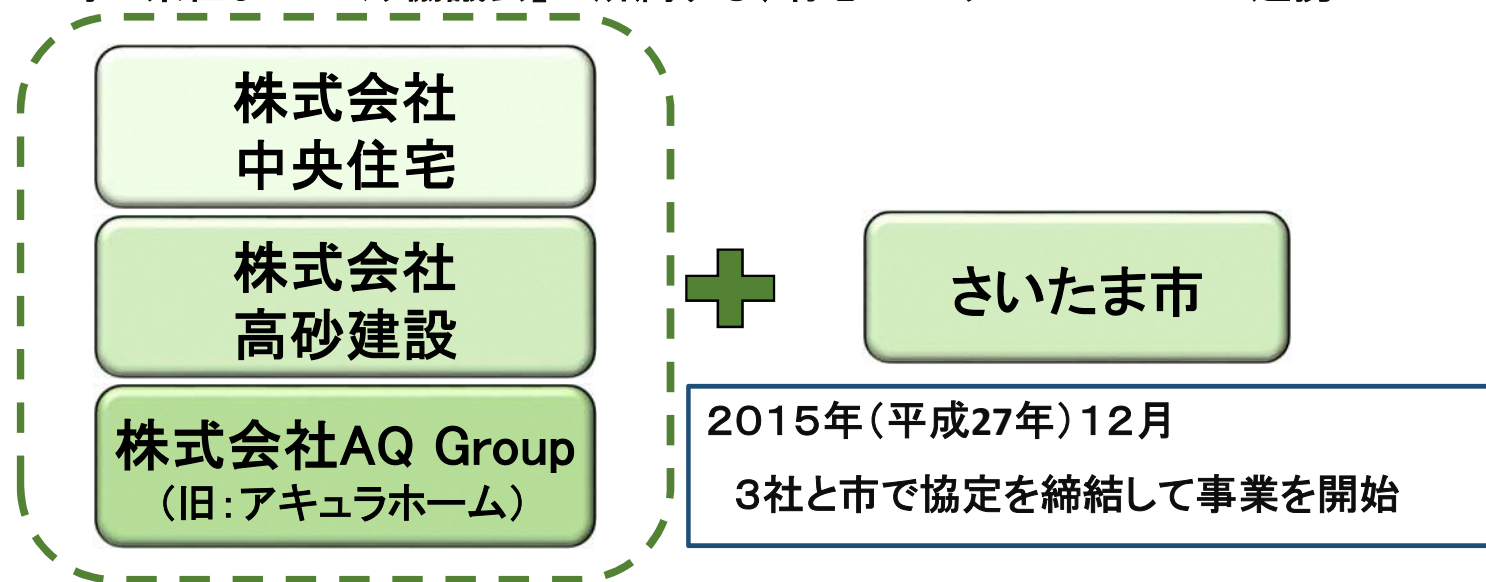
- ・低炭素でエネルギーセキュリティの確保された都市
- ・顔の見える地域コミュニティの育成、暮らしやすい都市



事業の推進体制

● 街区整備や住宅の建築を実施するパートナー

- 「埼玉県住まいづくり協議会」に所属する、有志のハウスメーカーとの連携



- 電線類地中化では、
東電タウンプランニング株式会社 等とも協力しながら事業推進
- 第3期街区では、株式会社Loop(小売電気事業者)も参画し、
モデル街区の集大成として、「災害時も電気が止まらない街区」を目指す

住宅街区内での電線類地中化



- 「空が広いまち」として景観の向上
- 災害時の電柱倒壊、電線の断線防止といったレジリエンス性の向上
- コモンスペースの下に電線類を地中化することでコストの削減



ご清聴ありがとうございました

問い合わせ先

さいたま市 都市戦略本部 未来都市推進部

TEL: 048-829-1457

E-mail: e-kizuna.project@city.saitama.lg.jp